

パブリック都市計画史研究会

Seminar on “Public Planning History”

2

本課題『パブリック都市計画史』の理論的・実践的探求は、これまでの都市計画史研究の方法に関する俯瞰的整理を行った上で、都市計画史研究の社会への還元を主題とした際に立ち現れる「非専門家も対象とした反省的知識」を構築する都市計画史という領域を「パブリック都市計画史」として措定し、その構成要素や方法的特質について理論と実践の両面から明らかにしようというものである。「開かれた都市計画史研究とは何か」「都市計画史研究は都市の保全や再生、創造にどのような貢献ができるのか」が本研究の核心をなす学術的な「問い」である。

(科学研究費基盤 (B) 『パブリック都市計画史』の理論的・実践的探求)

**Professional
Policy
Critical
Public**

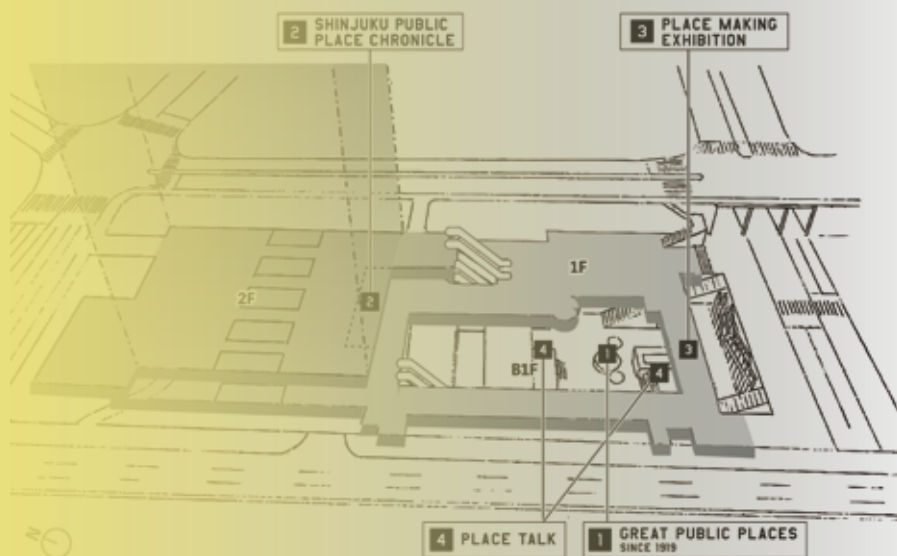
2019年12月8日(日) 13時-15時

東京大学工学部 14号館 2階 222 (アーバンcommons)

話題提供

『アーバニズム・プレイス展』という試み 中島直人 (東京大学)

池田武邦を通して理解する 55HIROBA と西新宿 永野真義 (東京大学)



主催：都市計画遺産研究会
問い合わせ先：中島直人